

生涯にわたって学び続け、その「学び」を社会の中で生かす。「学び」から「行動」へ  
**地域で展開される住民参加の活動や NPO 活動などをとりあげます。**

今号の  
 視点

いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツを楽しむ人づくり、地域づくり。構想から10年以上、幼なじみの先輩と後輩の二人三脚で、設立9か月を迎えた「にちなんスポーツクラブ」の今を取材しました。



放課後運動あそびクラブでパルクールバー（鉄管が連結した器具）を軽々と渡りきる子どもたち

99種目 & 99世代で生涯スポーツを楽しもう！

## ～ にちなんスポーツクラブ(日南町) ～

### 誰もがいつでも、どこでも、いつまでも

今から15年ほど前、小学校の統合をきっかけに地域のスポーツ団体が減り、町主催の「天体界道100kmにちなんおろちマラソン大会」など大きなスポーツイベントが開催されなくなりました。「にちなんスポーツクラブ」発起人の一人、足羽<sup>あしわ</sup>覚<sup>さとる</sup>さんは、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも一緒に<sup>そうごうがたちいき</sup>なって体を動かすことを楽しむ、総合型地域スポーツクラブの必要性を感じはじめます。ご自身、往年の陸上選手。スポーツの機会が失われていく町の状況を、なんとかしたいと思いはじめました。

### 行政とスポーツ推進員の力で設立

10年前から、足羽さんが所属する町のスポーツ推進協議会では、スポーツ活動を盛り返そうと、総合型地域スポーツクラブの設立に向け、話し合い

を続けてきました。その矢先、コロナ禍が猛威をふるいます。スポーツ以外の地域のコミュニティ活動も制限される中、総合型地域スポーツクラブの設立は難しい状況が続きました。一時は設立に消極的になりそうな時もありましたが、足羽さんの粘り強い働きかけと、日南町教育委員会の力強い後押しにより、設立が現実となりました。

### 先輩と後輩の二人三脚で始動！

さあ、始動という時でした、「総合型<sup>はい</sup>に入らせてくださいと、青戸さんが熱意を持って飛び込んできてくれて」と足羽さんはにっこり。足羽さんの目線の先には、青戸<sup>あおと</sup>武<sup>たけし</sup>さん。にちなんスポーツクラブ」で数々のイベント企画を手がける、この方も往年の陸上選手。「足羽さんのそばで、スポーツ普及の役に立ちたいと思って」と真剣な面持ちです。小

さい頃から陸上仲間の先輩と後輩であるお二人は、故郷とスポーツへの思いは同じ。こうして、総合型地域スポーツクラブ「にちなんスポーツクラブ」の活動が二人三脚ではじまりました。

## 種目を越えて体を動かすことを楽しむ

令和5年4月1日から活動を開始し、半年間で12のイベントを企画・実施しました。主に小学生を対象として、月に2度ほど開催している「放課後運動あそびクラブ」では、メニューは直前に決まることがほとんど。「おっちゃん、今日はなにをする？」と聞かれるとうれしいと足羽さん。「パルクール



放課後運動あそびクラブでの1コマ。スポーツリズムトレーニング



ビーチで楽しみながらトレーニング

バー]、「スポーツリズムトレーニング」……ニュースポーツを中心に、その日にやりたいことを自由にできるのが魅力の一つ。子どもたちの自主性や発想力を引き出せるよう心がけています。「普通のスポーツ団体は、バレーだったらバレー、野球だったら野球しかしません。総合型は違うんですね」と、足羽さん。1種目の上達を目指すのではなく、子どもから高齢者、運動が苦手な方から好きな方、スポーツ初心者から上級者まで、誰もが一緒になって体を動かすことを楽しみます。ルールがやさしいニュースポーツや体操を多く取り入れるのは、参加者の垣根をなくす工夫です。

毎月、地域の集会所を訪れて実施している「百歳体操」のクラスでは、「ひざの痛みが軽くなった」など、うれしい声をいただくことも。また、若いお母さん方を対象とした体操クラスでは、ニュースポーツの後におこなった乳幼児のハイハイ競争もにぎわいました。

## 世代や地域を越えてつながる

「ビーチバレー体験会」は、境港市にあるビーチバレーコートで実施。「普段なじみのないビーチでトレーニングしたい」との思いに、知り合いの高校の先生が全面的に協力してくださいました。バレー部メンバーもかけつけ、子どもたちと高校生が一緒になって砂浜でトレーニング。子どもたちは大はしゃぎ。運動後は焼肉をして盛りあがりました。「ふだん接する先生や家族、地域住民の方だけではなく、町外に出かけてたくさんの人と交流ができるのは、子どもたちにも刺激になったと思います」と青戸さん。

子どものみならず家族にも人気だったのは、日本の元オリンピック選手を招いて実施した、「元トップアスリートによる運動教室」。「能力的な体力の

そうごうがたちいき

## 総合型地域スポーツクラブってなあに？

県下で19団体が活動中  
(令和6年2月1日現在)

「だれでも」、「いつでも」、「どこでも」、「自分のペースで」スポーツを楽しむことができるように、地域の身近な施設を有効活用しながら、そこに住む地域のみなさんが主役となって管理運営をするクラブのことです。これまで、「スポーツをしたいけどできなかった」「自分のレベルにあった活動ができたらいいのに」と思われていた方たちが、もっと気軽にスポーツに取り組めるような垣根の低さを持っています。また、地域の人々がクラブを通じて交流することで、近年薄れつつある地域社会の活性化(まちづくり)にもつながります。

詳しくはコチラ

出典：鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課ホームページ



向上は、これだけでは見込めませんが、意識のほうですね。子どもたちの気持ちに響きます」と青戸さん。お二人と元オリンピック選手をつないだのは、地元の篤志家の方。ありがたいバックアップをいただいています。

「自分はね、これまで、子どもとの付き合いはあまりなかったんですよ。だけど、子どもたちがだんだんと自分の顔を覚えてくれて」と、足羽さんにはっこり。世代を越えた交流は、お二人にもうれしい変化をもたらしているようです。

## 夢は、町民全員が参加するコミュニティ

青戸さんは語ります。「総合型地域スポーツクラブと聞くと、“なにかおもしろいことをしているところ”と、町民のみなさんに認識してもらえる組織になれたらと思います」。まず自分たちが楽しみ、学び、そして実践する姿勢を大切にされているお二人。最近では、総合型地域スポーツクラブに必要な「アシスタントマネージャー」の講習を受け資格を取得しました。公認指導員として、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動の場を提供できるよう心がけています。

また、体を動かしながら地元の自然環境や歴史への理解をみんなで深めたいと、ハイキングや史跡を巡るウォーキングを計画中。これは、毎月、町の各地を巡る「ノルディック・ウォーク」を楽しむ足羽さんのアイデアです。



元オリンピック選手の指導を受ける子どもたち

これから活動を広げていくうえでの課題もあります。県下の総合型地域スポーツクラブとは違い、日南町にはクラブの拠点施設がまだありません。設立から日が浅く、関わってくれる人も資金も限られます。それでも「日南町がこうなったらいいな」と語るお二人は終始笑顔。町民全員が参加するスポーツコミュニティという未来を見ずえて、今できることを楽しみながら実践中です。

## 今回お話をうかがったのは



あしわ さとる  
会長 足羽 覚さん



あおと たけし  
青戸 武さん

## 町からの応援メッセージ

日南町教育委員会事務局 主事 おかもと けんた  
岡本 健太さん

足羽さん、青戸さんをはじめ、クラブに関わってくださる皆さんの熱意によって、町民の方々にとって楽しく居心地の良い場所が作られています。

これから一歩ずつ活動を積み重ね、まちにとってより大きな存在になるよう私たちも応援しています。



ちらしも工夫をかさねて発行中

## にちなんスポーツクラブ

〒689-5212 鳥取県日野郡日南町生山450 (日南町体育館内)

連絡先

電話 足羽 覚 090-8606-3135 Facebook にちなんスポーツクラブ  
青戸 武 090-7597-4390 instagram nichinan.sports.club



Facebook



instagram